

様式第三

認定事業再構築計画の内容の公表

1. 認定した年月日 平成16年3月26日

2. 認定事業者名 神戸発動機株式会社

3. 認定事業再構築計画の目標

(1) 事業再構築に係る事業の目標

神戸発動機株式会社は、船用内燃機関及びその部品の製造・販売を行っており、中型の船用内燃機関市場における顧客の信頼は高く、ここ数年、生産設備能力一杯の生産を続けても取引先からの受注に対応できない状況にある。

一方、現在の工場における生産設備は老朽化が進んでおり、生産性が低く、さらに、工場が内陸に立地しているため、原材料の搬入や製品の出荷に係る工場と入出荷岸壁との間の輸送費等がかかること等により、同社の収益構造が圧迫されている。

このため、今般、第三者割当増資を中心とした資金調達により財務基盤を強化し、出荷岸壁に隣接した新工場を建設するとともに、生産能力の増強等を図ることとした。

これにより、生産効率・物流効率の向上を図るとともに、製造するエンジンの環境対応の強化や電子制御等、製品を高付加価値化し、強固な収益基盤を構築することを目標とする。

(2) 生産性の向上を示す数値目標

生産性の向上として、平成18年度には平成14年度に比べて、株主資本当期純利益率を6%向上させることを目標とする。

4. 認定事業再構築計画の内容

(1) 事業再構築に係る事業の内容

中核的事業

船用内燃機関の製造、販売

選定理由

神戸発動機株式会社は、明治43年(1910年)11月創業以来一貫して船用主機関の製造、販売を行ってきた。昭和32年2月(1957年)三菱重工業との技術提携以降は、純国産ディーゼル機関のライセンス生産に取り組みつつ今日に至っており、今後も、純国産ディーゼル船用内燃機関製造・販売事業を通じて、競争力・収益力の強化に継続して取り組んでいくこととしており、同社の中核事業である。

事業再構築に係る事業の内容

第三者割当増資及び借入により資金調達を行うとともに、現在事業展開上のボトルネックとなっている生産能力の限界を解決する新工場を建設し、さらに今後環境規制への対応の強化及び、電子制御船用内燃機の製造比率を高めていき、製品の高付加価値化を行う。

(事業の構造の変更：新工場建設・増資)

・新工場の建設

出荷岸壁に隣接する新工場を建設する。

・増資

下記の内容で第三者割当増資を行う。

増資額： 1,935 百万円 (うち 975 百万円を資本金へ組入)

増資前の資本金： 1,240 百万円 (資本準備金 750 百万円)

増資後の資本金： 2,215 百万円 (資本準備金 1,710 百万円)

増資の方法： 以下の四社に対する第三者割当増資

三菱重工業株式会社

ジャパンストラテジックアイティ 1 号投資事業組合

三井物産株式会社

株式会社新来島どっく

(事業革新)

神戸発動機株式会社は、船用機関の製造を主として行っている長崎工場とエンジン部品の製造を中心に行っている神戸工場とを統合して、岸壁に隣接した場所に新工場を建設し、新たに処理能力の高い生産設備を導入することにより、原材料の納入から製品の出荷までの工程を効率化する。

(2)事業再構築を行う場所の住所

神戸発動機株式会社

本社： 兵庫県神戸市西区高塚台 3-2-2

新工場： 兵庫県 (予定)

(3)事業再構築を実施するための措置の内容

別表 1 のとおり

(4)事業再構築の開始時期及び終了時期

開始時期：平成 16 年 3 月

終了時期：平成 19 年 3 月

(5)事業再構築に伴う労務に関する事項

事業再構築の開始時期の従業員数 216 名

事業再構築の終了時期の従業員数 239 名

事業再構築に充てる予定の従業員数 72 名

中、新規に採用される従業員数 72 名

事業再構築に伴い出向または解雇される従業員数 なし